

# がん哲学の花

— 一般社団法人「がん哲学外来」関西支部ニュースレター 第33号 —

発行日：2016年11月15日

## 1周年記念百舌鳥地区カフェ榎野先生をお迎えして

がん哲学外来メディカル・ホーム・カフェ in 百舌鳥、メディカル・カフェ in 帝塚山  
若生 礼子

2016年11月1日（火）朝はまだ雨が降っていました。

ちょうど1年前のこの日、日曜日の鳴門の教会で、朝の礼拝から、午後の講演会そしてカフェ、と一日ご滞在の榎野先生とお話しませんか？との古川牧師のお勧めで、早朝の高速バスで出かけ、ランチを頂きながら、患者生活を通して、患者同士の語らいの必要性を痛感していること、もしカフェを始めるなら、お忙しい先生を煩わさないように、尊敬される方々の根源にある聖書のことばが書かれた本をテキストにしますので、とお伝えし、すぐに社団法人がん哲学外来の認可の手続きにかかってくださいました。

9月のホーム・カフェの折、「11月には1年になるので、一度、榎野先生にいらして頂きたい」というメンバーの声を受け、まったく無理、と確信しつつ、先生に伺いましたところ、何と「11月1日なら」との思いがけないお返事を頂きました。指定された日は、通院中の近畿中央胸部疾患センターのがんサロンの日でもあり思案の末、病院と交渉しましたが、結局両立は難しく、ならば、と、百舌鳥地区で私に続き、夜のカフェを始められたホームドクターの中野佳世先生とご一緒に、堺市百舌鳥地区カフェとしての企画で、個人面談、講演会を開催することに決まりました。個人面談会場は拙宅、講演会は、利用者さんが帰られた後の中野先生ご夫妻がされているデイサービスのわくわくサロンで、となりました。

地味にプログラム兼チラシを作り、身近な方を中心にお渡しして…という、どれだけの方が来られるか全く不明の中、タイムテーブルを作り、着々と準備を進めました。

先生が新大阪に到着の頃には、すっかり雨も止み、嘘のように秋晴れとなりました。

個人面談は、3組、お一組30分の予定で休憩時間をはさみ約2時間の予定でしたが、短い方もあり、結局4組の面談がされました。

神戸の心のともしびカフェの笹子先生のご紹介の方も来られました。

そして、すぐ斜め向かいのわくわくサロンに移動し、講演会が行われました。会場は、予定していた椅子の数を超え、約80名の方で立錫の余地なく、大盛況となりました。講演後の先生との榎問答のような質疑応答も楽しまれ、皆さんの反応も、なかなか聞くことができないお話を聴けた、とか、貴重な時間を持たせて頂きました、とか、好評だったようです。

来年3月12日には、堺市の4つの病院連携のがん患者会「寄り添い」主催で、先生の講演会が企画されていますので、より充実した講演会になるよう今回の皆さんの感想を生かしていきたいと思います。お忙しい中、一日、堺市百舌鳥でお過ごし下さった先生に感謝し、また、来週からのホーム・カフェ、再来週の教会カフェの新たな一年のスタートを切りたいと思います。



## ■□■カフェ探訪■□■

前月号の「がん哲学の花」にご寄稿くださいました江川守利さんが代表をされている渋沢栄一記念王子がん哲学外来メディカルカフェに参加しました。江川さんとのご縁でかねてより参加したいと思っていたカフェでした。

当日は9名のご参加で、初めての方もいらっしゃいました。

話題は、毛の話に始まり・・・これはものすごく盛り上がり、抗がん剤の副作用の脱毛の話から、抜け毛・薄毛の話、眉毛・睫毛・鼻毛のみならず腋からアンダーヘアに至るまで大盛り上がりでした。その他、就労の話やがん相談支援センターの話など各人の持つ情報、印象などをざっくばらんに、和気あいあいと語り合う場でありました。

私は大阪がん哲学外来メディカルカフェあずまやを開催して、そろそろ丸4年を迎えますが、運営に関してはまだまだ手探り状態で、悩んでいることもあります。

王子メディカルカフェは、東京都北区の北とぴあという複合文化施設の1スペースを借りて、おおむね第4日曜日の午後で開催されています。北区社会福祉協議会に登録しておく、この場所は無料で借りることができ、3ヶ月先まで予約を入れることができます。カフェのときに、参加者の皆さんと相談して日程を決めて、場所の予約をしておられるようです。

カフェのお飲み物は、ペットボトルのお茶やジュースで、お菓子も出ます。お茶代は、以前は無料で個々に持ち寄っておられたようですが、手ぶらで来られた初参加の方が気遣いなく飲食できるようにと、少し前から参加費500円を徴収するようにされたそうです。

参加者への案内は、一般社団法人がん哲学外来の website や代表の江川さんのブログ、facebookなどで公表されていますが、メールや郵便物を使つての個々への案内はされていないとのことでした。

この日は、関東地区の他地域でもメディカルカフェが開催されており、参加者のお一人は、もともと別のカフェに参加予定であったが、他の予定が入ったため、行きやすい王子メディカルカフェに変更して参加されたとのことでした。東高西低のがん哲学外来メディカルカフェの分布ですので、「さすが東京！」と思ったのですが、細かく分析すると、関東方面でもカフェのない地域があるというお話でした。

帰りは、何とも言えないほっこり感で、「来てよかったー」と思い、私も参加者にこう思ってもらえるようなカフェを創っていきたくて改めて思ったのでした。



一般社団法人「がん哲学外来」関西支部の website の URL です。各カフェのスケジュールや連絡先を掲載しています。

<http://azuma-clinic.wix.com/cancer-philosophy>

### <<編集後記 by あず>>

アメリカ大統領選が終わりました。日本の選挙とは趣が違い、彼の地の大統領選は完全に二者択一の世界です。「二者択一」とは、2つのうちどちらか自分が好きなもの、大切だと思うものを選ぶこと。どちらが正解ということはありません。自分ならどちらを選ぶかということです。

「人生は選択の連続である」これは、ご存じシェークスピアの名言。人生は日々、選択の連続。何の予定もない日でさえ、私たちは小さな選択を繰り返しながら日常を過ごしています。自分の心に向き合って、自分の価値観を信じて選んだその道は、きっと豊かな人生につながっていると思うのです。

